

Limelight Cloud Storage Service

Limelight Cloud Storage Serviceは、オブジェクトベースの分散ストレージソリューションで、Orchestrate Platformと直接統合されています。高い安定性を持つストレージプラットフォームとして設計されており、様々なコンテンツを高速にアップロードし配信できます。Limelight Cloud Storage Serviceはグローバルなネットワーク上に分散しており、高い可用性を実現し、使ったストレージ容量に応じて課金されるサービスです。

主な機能

- **自動レプリケーション** – お客様のコンテンツ配信ニーズに応じて、ライムライトのグローバルネットワークのPOP (Points of Presence: アクセス拠点)の中から最適なストレージ拠点を選択し、レプリケートします。
- **アップロード** – APIを使ったコンテンツアップロード、マルチパートファイルのアップロード、Aspera、WebベースのGUIを使ったアップロード、FTP/SCP/SFTP/RSYNC/FTP-SSLなどのプロトコルを使ったアップロードをサポートします。
- **オブジェクト管理** – オブジェクトデータ、オブジェクトメタデータ、レプリケーションポリシーが管理可能です。
- **配信とダウンロード** – CDNが持つエッジリソースの、最も近いストレージからオブジェクトを取得します。HTTP及びHTTPSプロトコルをサポートします。
- **管理** – Cloud Storage ServiceのRESTベースのAPIは、JSON-RPC 1.0とJSON-RPC 2.0の両方をサポートします。管理機能には以下が含まれます:
 - 認証: ログイン及びログアウト
 - アップロード: ファイル全体またはマルチパートアップロード
 - オブジェクトと階層管理: ディレクトリ作成、ファイル削除、オブジェクトまたはディレクトリの削除、ファイルまたはディレクトリのリネーム、ディレクトリ間のファイル移動
 - オブジェクトリスティング: 地域設定、ファイル統計、mtime情報
 - パブリケーション: ファイルにアクセスできるタイミングを設定 (例: アップロード中、書き込み完了後、ポリシーのコピー時など)
- **ワークフローの自動化をサポート** – オブジェクトのトランスコード、トランスマックス、透かし挿入及びコピーなどのワークフローを管理します。
- **ストレージ容量制限** – Limelight Cloud Storage Serviceでは、格納できるオブジェクト数に制限はありません。
- **即座にパブリッシュ** – ユニークなランディングアーキテクチャにより、アップロードが完了する前にファイルのダウンロードを開始することが可能です。
- **CDNとの統合** – Content Delivery Networkと完全に統合されています。
- **スケーラブル** – 容量の上限をあらかじめ決めておくことで、シームレスな制御やスケールアップが可能です。
- **セキュリティと保護** – Limelight Cloud Storage Serviceは、Limelight Content Delivery Serviceと完全に統合されているため、コンテンツ及びURLの認証、クッキーベースの認証、ディープリンクの防止、カスタマイズ可能な証明書オプションを使ったSSL配信、リファラーブロック、ジオブロックなどの様々な標準セキュリティ機能を提供することが可能です。

オリジンのストレージ管理における課題

デジタル化された組織においては、数テラバイトに及ぶデジタルコンテンツを、複数の地域の顧客に送り届けなければならないケースが頻繁に見受けられます。数千、時には数百万に及ぶファイルを管理しなければならず、それにはビデオからWebコンテンツ、ソフトウェアやイメージなど、様々なタイプのファイルが含まれるでしょう。

また、テレビやインターネットニュースなどで取り上げられることで特定コンテンツへのアクセスが急増するといったケースもあります。そういった状況はキャンペーンとは異なり予測不可能ではありますが、それでも閲覧者はコンテンツが24時間常にアクセス可能であることを要求します。既存のクラウドストレージベンダーのサービスを使ってこれらの要件を全て満たすのは、非常に複雑で困難です。ユーザーは、コンテンツを管理・迅速にアップロードそして配信できるシンプルな方法を探していると言えるでしょう。

Limelight Cloud Storage Service

Limelight Cloud Storage Serviceで課題克服

Limelight Cloud Storage Serviceは、前述の課題に様々な方法で解決策を提供します。まず、ライムライトがグローバルに保持する大容量のストレージを使うことで、増え続けるデジタルコンテンツのライブラリを保存するための十分なストレージを、格納できるオブジェクト数を問わず確保することが可能です。また、CDNとストレージの統合により、非常に高速にコンテンツを読み出すことができます。さらに、ライムライトのCDN・クラウドストレージは分散アーキテクチャがベースになっているため、エンドユーザーに近い場所に保存したいコンテンツを配置することができ、いつ、どこで起きるか分からないアクセスの急増にも即対応が可能です。

Limelight Cloud Storage Serviceは、コンテンツの高速なアップロードを可能にするAsperaを含む複数のアップロード方法をサポートしています。また、強力なAPIライブラリによってコンテンツの移動やアップロード、操作などを柔軟に行うことができ、オブジェクトストレージをワークフローに直接組込むことも可能です。

ビジネスメリット

- **コンテンツの可用性を向上** – アクセス頻度を問わず、メディアコンテンツを常にアクセス可能な状態に保ちます。分散アーキテクチャにより、オリジンのストレージがボトルネックになることを防ぎ、24/7/365いつでもアクセスすることが可能になります。
- **インフラ管理を簡素化** – ストレージがクラウドにあり、使った分だけの課金体制のため、容量管理に頭を悩ませる必要はありません。
- **ワークフローを高速化** – 自動化機能を使うことにより、メディアファイルをワークフローに組み込むことが簡単かつ迅速に行えます。

クラウドストレージ活用例

ある大手小売りサイトがWebサイトを拡張して応答性の向上を検討する際に、パフォーマンス最適化の次のステップに踏み出すべく、Limelight Cloud Storage Serviceを採用しました。Limelight Cloud Storage Serviceなら、数千ものメディアコンテンツファイルを顧客ベースのすぐ近くに配置することが可能となりました。その結果、それまでキャッシュミスを起こしていたコンテンツリクエストがキャッシュヒットのように振る舞いを変え、Webサイトのパフォーマンスは年間で最もトラフィックの多いホリデーシーズンでも堪えられるほどに最適化されました。

Limelight Orchestrate Platformについて

Limelight Orchestrate Platformは、クラウドベースのソフトウェアをサポートする大規模なサーバー構成と、世界最大のプライベートネットワークを統合し、グローバルレベルのコンテンツデリバリーとクラウドセキュリティソリューションを提供します。

Limelight Networksについて

Limelight Networks (NASDAQ: LLNW) は、デジタルコンテンツ配信のグローバルリーダーです。デジタルコンテンツを管理し、世界中の多種多様なデバイスに送り届けることで、お客様がオンラインの視聴者とよりよい関係を築くためのお手伝いをしています。詳しくは jp.limelight.com をご覧ください。

Limelight Networks および当社のサービスの詳細についてはこちらまでお問い合わせください。

ライムライト・ネットワークス・ジャパン株式会社
 〒107-0061 東京都港区北青山2-7-28 NAビルディング2F
 TEL: 03-5771-4230

info-jp@llnw.com ■ jp.limelight.com